



公益財団法人 ダスキン愛の輪基金

2021年度(第41期) 事業報告書



愛の輪運動は障がい者の自立と社会との共生を応援しています。

心豊かに暮らせる社会を願って

「ダスキン愛の輪基金」は、国際障害者年が定められた1981年に、「めい あい へるぷ ゆう」（何かお手伝いできることはありませんか）という思いのもと設立、障がい者の自立と社会との共生を目指し、41年間続けています。

現在当財団では、主に二つの事業に取り組んでいます。

一つは、「ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業」です。地域社会のリーダーとして貢献したいと願う障がいのある若者を海外へ研修派遣しています。帰国後は、その貴重な体験を活かし、大学教授や弁護士、自立生活センターの運営、パラリンピック選手など、様々な分野で活躍されています。

もう一つは、「ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業」です。アジア太平洋地域の障がいのある若者を日本へ招き、障がい者福祉を学んでいただく事業です。帰国後は母国で、共生社会の実現に向けて、障がい者福祉のリーダーとして尽力されています。

世界的に猛威を奮った新型コロナウイルス感染症のため、この2年間は当財団の事業である研修生の派遣、受入に関しては中断せざるを得ない状況でしたが、本年度からは、研修生の安全・安心のもとに、徐々に事業活動を再開しています。

これらの事業活動は、会員さまからの会費やミスタードーナツ店舗などでの募金、寄付、そして研修生を受け入れていただく関係機関を含めた多くの皆さま方からの温かな支えによって続けることができますこと、心から感謝申し上げます。

今後も、公益財団としての社会的責任を果たし、愛の輪活動をより多くの方にご理解いただくための取り組みを積極的に行い、全ての人々が心豊かに暮らせる社会づくりのお手伝いを続けてまいります。

今後共、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人 ダスキン愛の輪基金
理事長 **山村輝治**



ダスキン障害者リーダー育成 海外研修派遣事業

事業発足後、41年間で528名の研修生を 海外17カ国に派遣。

第41期生の募集は、新型コロナウイルス感染拡大のため見送りました。

ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業は、1981年に国連で決議された国際障害者年を契機に、障がい者の社会への完全参加と平等の実現を目指して発足。この事業は、地域社会のリーダーとして貢献したいと願う障がいのある若者に海外で研修していただくもので、障がいのある人を対象とした海外研修派遣制度として、国内外に広く知られています。

研修派遣生の 構成 (528名)

| 地域別(応募時) | |
|----------|------|
| 北海道 | 9名 |
| 東北 | 28名 |
| 北関東 | 64名 |
| 南関東 | 59名 |
| 東京 | 123名 |
| 東海 | 49名 |
| 北陸 | 13名 |
| 近畿 | 105名 |
| 中国 | 21名 |
| 四国 | 15名 |
| 九州 | 42名 |

障がい種別

| | |
|-------|------|
| 知的障がい | 77名 |
| 視覚障がい | 115名 |
| 聴覚障がい | 100名 |
| 盲ろう | 2名 |
| 肢体不自由 | 211名 |
| てんかん | 10名 |
| 内部障がい | 8名 |
| 精神障がい | 4名 |
| 発達障がい | 1名 |

海外派遣先別

| | |
|----------|------|
| アメリカ | 402名 |
| イギリス | 32名 |
| スウェーデン | 15名 |
| オーストラリア | 12名 |
| ニュージーランド | 14名 |
| ドイツ | 11名 |
| カナダ | 9名 |
| フィジー | 8名 |
| フィンランド | 5名 |
| イタリア | 7名 |
| ノルウェー | 3名 |
| デンマーク | 5名 |
| フランス | 1名 |
| フィリピン | 1名 |
| ロシア | 1名 |
| 大韓民国 | 1名 |
| コスタリカ | 1名 |

第42期 個人研修生

第42期 海外研修派遣事業の個人研修生4名が選ばれました。



奥村 泰人さん (聴覚障がい)

研修先

イギリス、フランス

研修テーマ

日本のエンターテインメントにろう者が活躍できる場を広げるため、海外の事例から学ぶ。



鈴木 海人さん (視覚障がい)

研修先

アメリカ

研修テーマ

映画文化の先端に行くアメリカにおけるバリアフリー上映の実態を探り、日本との比較を行う。



岩下 唯愛さん (肢体不自由)

研修先

アメリカ

研修テーマ

ハワイ大学の障がい学生支援システムをヒントに、日本の障がい学生支援を考える。



出戸端 藍さん (聴覚障がい)

研修先

アメリカ

研修テーマ

外国籍の親を持つ、ろう児童の言語習得支援と保護者支援を学ぶ。

第40期・第42期 研修派遣生 壮行会を開催

海外研修派遣事業 第40期生・第42期生の合同壮行会が、3月17日(木)にダスキン本社ビルで開催されました(第41期生は募集中止)。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により、会場での参加は極力人数を限定しハイブリッド形式で実施。第40期の個人研修生4名とミドルグループ研修生3名、第42期の個人研修生4名(P2参照)が、自己紹介と研修に向けての思いをそれぞれ発表しました。



第40期 ミドルグループ研修生

●メインストリームインクルーシブ部



鍛冶 克哉さん
(肢体不自由)



数矢 雄さん
(肢体不自由)



眞名野 枝里子さん
(肢体不自由)

研修先

イタリア

研究テーマ

インクルーシブ教育の実現

インクルーシブ教育の先進国といわれるイタリアで、障がい当事者の学校生活の現状と、支援体制が確立された過程を学び、自分たちの活動拠点でのインクルーシブ教育の実現に役立てたいです。

第40期 個人研修生



笠柳 大輔さん (肢体不自由)

研修先

アメリカ

研修テーマ

障がい者運動における
ファンレイジング

アメリカの寄付マーケットは日本の30倍以上といわれ、障がい者団体には必ずファンレイザーがいます。帰国後は、学んだことを活かすとともに、アメリカの団体との関係を発展させていきたいと思っています。



高木 沙祐里さん (肢体不自由)

研修先

デンマーク・アメリカ

研修テーマ

デンマークにおける「障がい」の
捉え方と障がい者の「自立」について

福祉施設見学や障がい者団体との交流、現地の人とのコミュニケーションを通して、デンマークでは障がい者がどのように捉えられているかを健常者・障がい者・社会の3つの視点から考えたいと思っています。



小貫 怜央さん (肢体不自由)

研修先

アメリカ

研修テーマ

車いす競技とソフトボールの
複合的指導

日本の車いすスポーツ発展のために指導者の育成は欠かせません。研修ではパラリンピック金メダルのコーチから車いすバスケットボールの技術を学び、発展途上の車いすソフトボールに応用したいと考えています。



福島 愛未さん (聴覚障がい)

研修先

デンマーク・フィンランド・スウェーデン・ノルウェー

研修テーマ

ろう者の視点による映像制作技術の研修、
北欧のDeafSpace Designの視察

研修では、DeafSpace Designの啓発活動に必要なツールとして、映像の制作技術と情報発信技術を学びます。また、デンマークや他の北欧諸国のDeafSpace Designと関連する建物の視察を行う予定です。

研修修了生 各地で活動報告

海外研修に参加された研修修了生たち。それぞれの研修先でいろいろなことを学んだ経験を活かして、現在活躍されている4人の研修修了生がオンラインで活動報告をしました。



ダスキン東京地域ファミリー会2022にて
オンラインコンサートを開催

北原 新之助さん (第35期派遣生)

1月13日(木)、東京地域ファミリー会2022にてオンラインコンサートを開催。声楽家として活躍されている北原さんのファーストリサイタルの模様が披露され、新春にふさわしい華やかな曲に乗せた素敵なバリトンの歌声が会場に響きました。



ダスキンサーヴ九州の政策勉強会にて
自立支援活動を報告

大藪 光俊さん (第36期派遣生)

4月24日(土)、九州各地をオンラインで結ぶ勉強会で講演。友人や恩師に支えられて過ごした学生時代、障がい者社会の問題として捉えることを学んだ海外研修。そして、現在取り組んでいる重度障がい者の自立支援活動について報告していただきました。



ダスキン愛知西エリア会にて
インクルーシブな社会をテーマに講演

寺嶋 千恵子さん (第30期派遣生)

7月2日(土)、愛知西エリア会にてオンライン講演会を実施。「インクルーシブな社会を目指して」をテーマに、妊娠・出産のこと、周囲のサポートのことなど、障がいのあるなしに関係なく、全ての人が自分らしく暮らせる社会の大切さをお話しいただきました。



ダスキン近畿ファミリー交流会2022にて
台湾での活動内容を報告

リン・チュン・チエさん (アジア第6期研修生/台湾)

1月14日(金)にオンラインにて開催された近畿ファミリー交流会2022で、VTRによる活動報告を実施したリンさん。日本での研修を終え、帰国後に台湾初の自立生活センターを設立し、台湾の障がい者の自立をサポートしている活動内容を発表されました。



ダスキン東海・北陸地域本部にて
手話を学ぶ勉強会を開催

今村 彩子さん (第18期派遣生)

6月22日(水)を皮切りに、ダスキン東海・北陸地域にて手話勉強会が開催されました。映画監督として今春「文化庁映画賞」を受賞した今村さんは、個人研修生としてアメリカで手話を学んだ経験があり、基本的な日本手話のレクチャーをしていただきました。



ダスキン愛知西エリア会にて
パラリンピックの魅力をテーマに講演

永瀬 充さん (第21期派遣生)

7月2日(土)、愛知西エリア会にてオンラインによる講演会を実施。パラアイスホッケーで長野パラリンピックをはじめ、4度パラリンピックに出場した経験、愛の輪基金の海外研修で得たこと、障がい者スポーツの普及活動などについてお話しいただきました。



1999年の発足より23年目を迎えた アジア太平洋地域からの研修生招へい事業。

アジア太平洋地域の障がいのある若者を日本へ招き、各地の機関・施設で障がい者福祉を学んでもらい、帰国後は母国のリーダーとして活躍していただく人材育成事業です。

第22期生が日本語・日本手話を使って語学研修中間発表会を開催

2021年9月26日(日)、第22期生による語学研修中間発表会がオンラインで開催されました。

世界的な新型コロナウイルス感染拡大を受けて、来日が延期になっている第22期生。2020年11月からオンライン語学研修を実施していますが、5人の研修生はいずれもモチベーションを落とすことなく、日本語や手話の習得に励んでいます。



ウェン・ルウットさん
(カンボジア／肢体不自由)

障がい者の権利擁護・地域でのサポートを学びたいというウェンさん。現在は子どもたちに英語を教える先生として、また、障がいのある人を支援するNGOスタッフとして働いています。日本でお寿司を食べるのが楽しみとのこと。



ジャスミン・センテアノ・アンピオンさん
(フィリピン／視覚障がい)

就職の際、障がいを理由に不採用になった経験を持つジャスミンさんは、現在は障がいインクルージョンの企業で勤務。日本ではインクルーシブな社会を実現するための方策として、障がい者雇用・アクセシビリティについて学びたいそうです。



バステアン・コーラゲ・ディルシャン・カヴィンダ・ロドリゴさん
(スリランカ／聴覚障がい)

読書やろう者とのおしゃべり、料理が好きだというカヴィンダさん。スリランカでは、ろう者と健常者で賃金格差があるため、日本での研修で、ろう者の地位向上・就労の機会・教育などについて学習する予定にしています。



ノー・サン・ター・ウイさん
(ミャンマー／聴覚障がい)

お花が大好きで、日本ではひまわりや藤の花が見たいというウイさん。日本で行ってみたい場所を得意の絵で描いてくれました。現在はろう学校で教員をしているので、日本のろう学校で数学の教え方について学びたいとのこと。

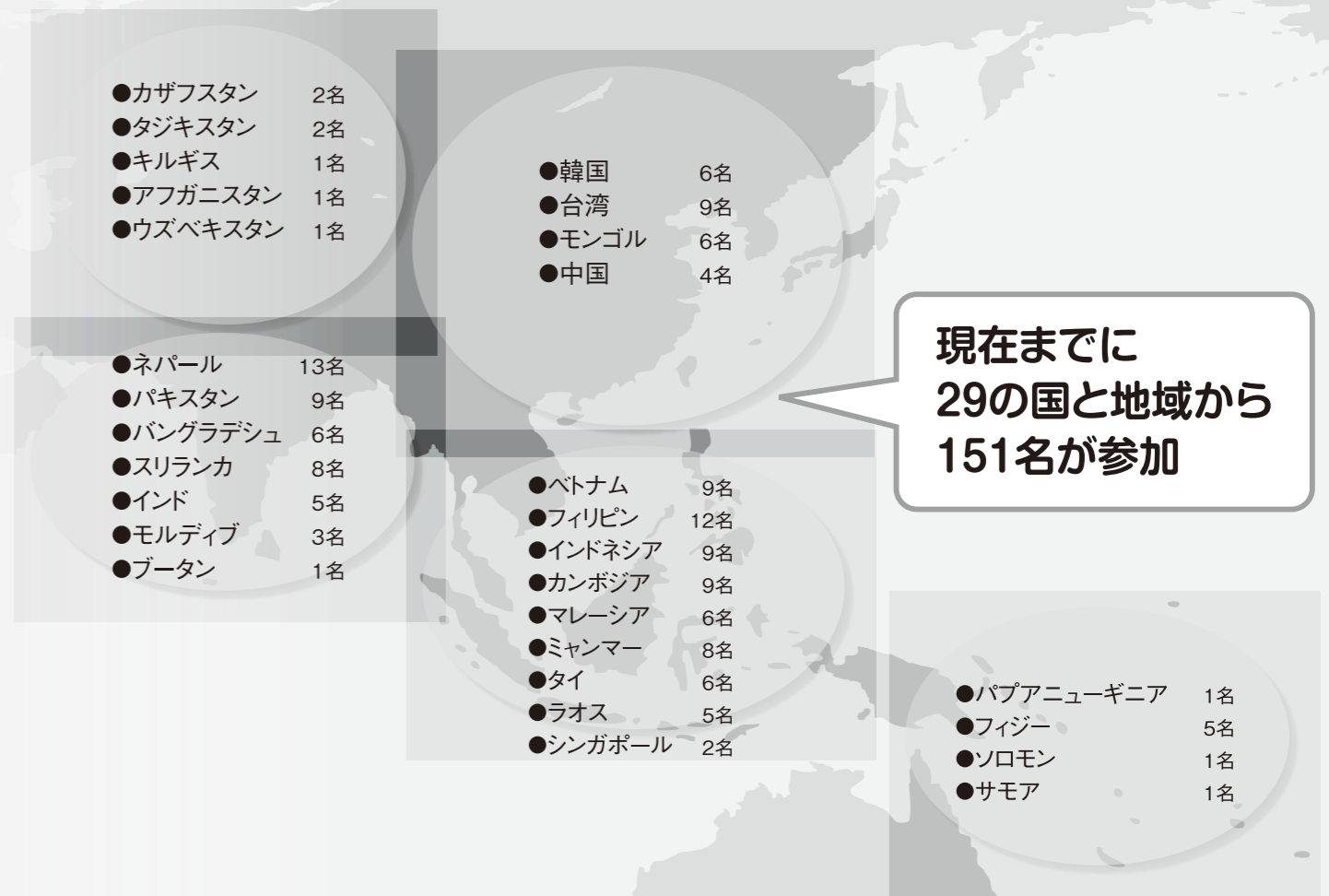


マウディタ・ゾプリタニアさん
(インドネシア／肢体不自由)

大学で日本語を専攻しているゾーさんは、女性障がい者の複合差別について問題意識を持っており、障がい者雇用のあるべき姿や福祉制度を学ぶことを予定しています。また、アートにも興味があり、美術館などにも行ってみたいそうです。

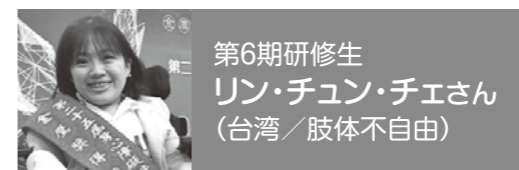
第22期生 主なスケジュール

| | |
|----------|------------------------|
| 2020年11月 | 日本語・日本手話 オンライン研修を開始 |
| 2021年 9月 | 語学研修中間発表会 (オンライン配信) |
| 2022年 6月 | 開講式 集団研修 |
| 7月 | 個別研修開始 |
| 12月 | 修了式 帰国予定 |



現在までに
29の国と地域から
151名が参加

アジア研修修了生の活動報告と帰国後の取り組み



第6期研修生
リン・チュン・チェさん
(台湾／肢体不自由)

実績を残した障がい者に贈られる 第25回ゴールデンイーグル賞を受賞

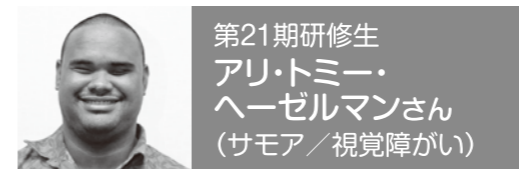
台湾初の自立生活センターを設立したリンさんは、多方面にポジティブな影響を与えたことでゴールデンイーグル賞を受賞されました。



第9期研修生
オンドラフバヤール・
チョロンダワさん
(モンゴル／肢体不自由)

障がい当事者としてモンゴル初 障がい社会政策関連の首相アドバイザーに

モンゴル初の自立支援センターを設立したバヤールさん。モンゴルにおける障がい社会政策保障分野の首相アドバイザーに任命されました。



第21期研修生
アリ・トミー・
ヘーゼルマンさん
(サモア／視覚障がい)

サモアの障がい者権利擁護団体の コミュニケーション責任者に

日本で視覚障がい者への情報提供サービスを学んだアリさん。現在はサモアの全国的な障がい者権利擁護団体の責任者として活躍しています。

Webやオンラインを活用した積極的な取り組み

ミスタードーナツ フレンドシップフェスティバル2021

愛の輪講演に廣瀬 有紀さん(第27期派遣生)が登場

「聴覚障がいのあるお客様をおもてなしするために必要なことは？」9月14日(火)に行われた愛の輪講演にて、廣瀬 有紀さんのインタビューの様子が配信されました。



笑顔とジェスチャーで気持ちは十分伝わります!

笑顔はもちろんですが、ジェスチャーでも「配慮してもらっている!」とわかり、安心できると思います。以前、飲食店で食事中に店員さんが窓を指して、「雨が降ってますよ」と手話で教えてくれたことがありました。「手話はどこで学んだのですか?」と伺うと、高校の福祉コースで学ばれたとのことでした。耳の聞こえない方の来店時は、手話ができなくても、ジェスチャーを使ったコミュニケーションが喜ばれると思います。「これ、おいしいですよ」など、些細なことでもうれしいものです。

愛の輪チャリティコンサートを開催

シンガーソングライター 玉城 ちはるさんの心に響く歌声

愛の輪の活動をもっと多くの方に知っていただきたい。そんな思いを込めて、1月26日(水)にダスキン本社ビルで開催された「愛の輪チャリティコンサート」の様子がYouTubeで配信しました。シンガーソングライターの玉城 ちはるさんのハートウォーミングな歌声をお届けし、たくさんの方に愛の輪運動への理解を深めていただく機会となりました。



手話を交えてやさしく、時には力強く心に響く玉城さんの歌声

愛の輪運動のPRチラシを制作!

ミスタードーナツ「反省と感謝の日」に合わせて、愛の輪基金の活動を知っていただくチラシを制作しました。



「愛の輪」の活動は会員の皆さまの会費やご献金によって支えられています

ソフトバンク「つながる募金」がご利用いただけます。クレジットカード、またはソフトバンクご利用者なら、携帯電話料金と一緒にご寄付いただけます。



ソフトバンク「つながる募金」を通じて愛の輪運動へ寄付されます。



詳しくはこちらへ

ダスキンWeb会員サイト DDuetコイン募金ページの開設。

本年度実績 2,406件 456,499円



ダスキンの商品購入等で付与されるDDuetコインを愛の輪基金に寄付できるようになりました。



詳しくはこちらへ

正味財産増減計算書・貸借対照表・財産目録 収入・支出 会員数の推移

| 科目 | 合計 |
|---------------|---------------|
| I 一般正味財産増減の部 | |
| 1. 経常増減の部 | |
| (1) 経常収益 | |
| 基本財産運用益計 | 11,620,848 |
| 受取会費・賛助金 | 140,023,010 |
| 受取寄付金計 | 13,736,485 |
| 雑収益計 | 1,585,909 |
| 経常収益計 | 166,966,252 |
| 経常費用計 | 108,051,058 |
| 当期経常増減額 | 58,915,194 |
| 2. 経常外増減の部 | |
| (1) 経常外収益計 | 0 |
| (2) 経常外費用計 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | 58,915,194 |
| 一般正味財産期首残高 | 172,389,306 |
| 一般正味財産期末残高 | 231,304,500 |
| II 指定正味財産増減の部 | |
| 当期指定正味財産増減額 | -10,156,800 |
| 指定正味財産期首残高 | 1,849,653,000 |
| 指定正味財産期末残高 | 1,839,496,200 |
| III 正味財産期末残高 | 2,070,800,700 |

| 資産の部 | |
|----------|---------------|
| 【流動資産】 | |
| 現金預金 | 180,409,208 |
| 未収金 | 19,352,510 |
| 貯蔵品 | 1,182,904 |
| 前払金 | 0 |
| 仮払金 | 698,190 |
| 流動資産合計 | 201,642,812 |
| 【固定資産】 | |
| 基本財産 | 1,839,496,200 |
| その他の固定資産 | 41,903,568 |
| 固定資産合計 | 1,881,399,768 |
| 資産合計 | 2,083,042,580 |
| 負債の部 | |
| 【流動負債】 | |
| 未払金 | 407,359 |
| 前受会費 | 6,000 |
| 預り金 | 317,667 |
| 流動負債合計 | 731,026 |
| 【固定負債】 | |
| 退職金給与引当金 | 11,510,854 |
| 固定負債合計 | 11,510,854 |
| 負債合計 | 12,241,880 |
| 正味財産 | 2,070,800,700 |

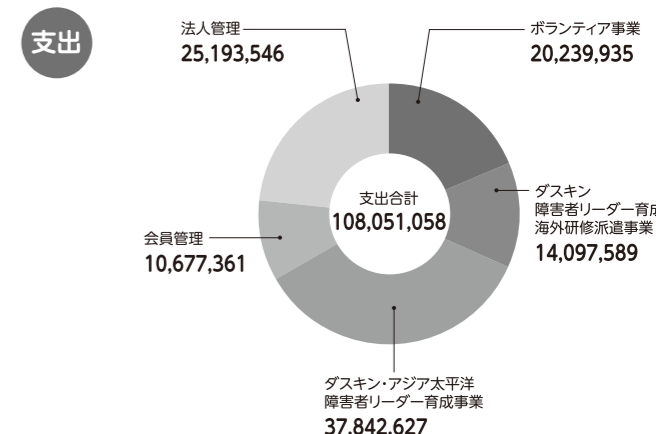
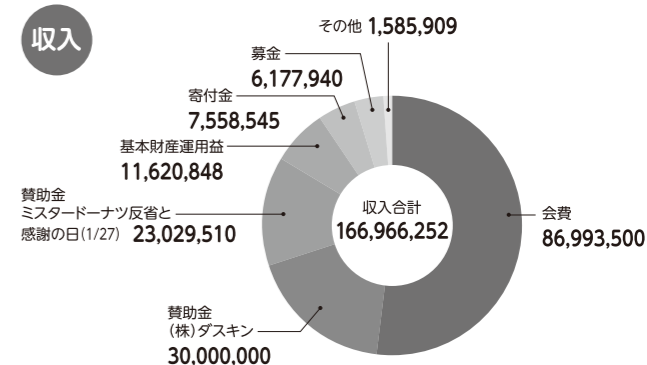
| | 第39期 2020.3.31 | 第40期 2021.3.31 | 第41期 2022.3.31 |
|------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 資産の部 | | | |
| 流動資産 | 87,166 | 142,201 | 201,643 |
| 固定資産 | 1,893,891 | 1,891,526 | 1,881,399 |
| 資産合計 | 1,981,057 | 2,033,728 | 2,083,042 |
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | 1,250 | 2,010 | 731 |
| 固定負債 | 7,402 | 9,676 | 11,511 |
| 負債合計 | 8,653 | 11,686 | 12,242 |
| 正味財産の部 | | | |
| 指定正味財産 | 1,855,577 | 1,849,653 | 1,839,496 |
| 一般正味財産 | 116,826 | 172,389 | 231,304 |
| 正味財産合計 | 1,972,403 | 2,022,042 | 2,070,800 |
| 負債及び正味財産合計 | 1,981,057 | 2,033,728 | 2,083,042 |

*記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

会員数の推移 2022年3月31日現在 単位:人(件)

| | 第39期 2020.3.31 | 第40期 2021.3.31 | 第41期 2022.3.31 |
|--------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 法人会員 | 221 | 220 | 217 |
| 特定法人会員 | 456 | 444 | 437 |
| エルダー会員 | 511 | 487 | 464 |
| 動きさん会員 | 1,668 | 1,627 | 1,586 |
| 個人会員A | 1,492 | 1,429 | 1,378 |
| 個人会員B | 2,898 | 2,784 | 2,678 |
| 個人会員C | 6,558 | 6,066 | 5,976 |
| 小計 | 13,804 | 13,057 | 12,736 |
| メイト会員 | 47 | 20 | 57 |
| (累計) | 174,151 | 174,171 | 174,228 |
| 合計会員数 | 13,851 | 13,077 | 12,793 |
| (累計) | 187,955 | 187,228 | 186,964 |

収入・支出 単位:円



財団41年の歩み

- **第1期 1981年**
 ●3月16日:東京・帝国ホテルで「ミスタードーナツ障害者リーダー米国留学派遣」の記者発表会が行われる。
 ●11月26日:厚生省より「財団法人 広げよう愛の輪運動基金」としての認可を受ける。

- **第2期 1982年**
 ●1月7日:第1期留学生10名をアメリカへ派遣。
 ●1月27日:ミスタードーナツ1日チャリティが行われる。



- 研究開発助成事業として4機関が決定。
 ●第2期留学生10名を派遣。
 ■ **第3期 1983年** ●留学生9名を派遣。
 ■ **第4期 1984年** ●留学生9名を派遣。
 ●「ミスタードーナツ障害者リーダー米国留学派遣」事業に対し、故山西利夫氏が「ヘレンケラー・アンサリバンゴールドメダル」を受賞する。



- **第5期 1985年** ●留学生9名を派遣。
 ■ **第6期 1986年** ●留学生8名を派遣。
 ●研究開発助成事業の成果をうけて、「フェニルアラニン除去ドーナツミックス」をミスタードーナツと日本製粉が協力し開発する。
 ■ **第7期 1987年** ●留学生8名を派遣。
 ■ **第8期 1988年** ●留学生7名を派遣。
 ■ **第9期 1989年** ●留学生7名を派遣。
 ■ **第10期 1990年** ●留学生10名を派遣。

- **第11期 1991年**
 ●障害者リーダー米国留学派遣事業の冠名がミスタードーナツよりダスキンに、米国留学が海外研修に変わる。団体研修27名(介助者を含む)を2チームで、2週間のアメリカ研修を行う。
 ●全国10地域に愛の輪地域推進委員会が誕生。

- **第12期 1992年**
 ●研修派遣生4チーム98名(介助者を含む)を派遣。
 知的障害者チームはスウェーデンへ、視覚・聴覚障がい・肢体不自由チームはアメリカで約2週間の研修を行う。



- **第13期 1993年**
 ●研修派遣生6チーム97名(介助者を含む)を派遣。肢体不自由者のチームを2チームに増やし、てんかんのチームを編成、アメリカに2週間、障がい者の「就労」をテーマに学ぶ。

- **第14期 1994年**
 ●全国59地区に愛の輪地区実行委員会を設立。
 ●研修派遣生13名を派遣。

- **第15期 1995年**
 ●愛の輪地区実行委員会を全国72地区に編成。
 ●研修派遣生10名を派遣。

- **第16期 1996年** ●研修派遣生10名を派遣。

- **第17期 1997年** ●研修派遣生9名を派遣。

- **第18期 1998年** ●研修派遣生7名を派遣。
 ●第18期研修派遣生の松江美季さんが長野パラリンピックで金メダル3個を獲得。その活躍に対し、「愛の輪賞」を贈呈。

- **第19期 1999年** ●研修派遣生9名を派遣。
 ●ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業をスタート。



- **第20期 2000年** ●研修派遣生8名を派遣。
 ■ **第21期 2001年** ●研修派遣生9名を派遣。
 ■ **第22期 2002年** ●研修派遣生9名を派遣。

- **第23期 2003年**
 ●財団設立25周年記念事業として、「グループ研修派遣」が加わる。
 ●研修派遣生11名を派遣。

- **第24期 2004年**
 ●研修派遣生12名を派遣。

- **第25期 2005年**
 ●11月16日:ヒルトン東京において「財団設立25周年記念式典」が開催される。
 ●研修派遣生11名を派遣。

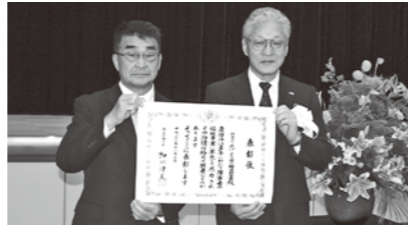
- **第26期 2006年**
 ●研修派遣生12名を派遣。

- **第27期 2007年**
 ●研修派遣生12名を派遣。

- **第28期 2008年**
 ●研修派遣生30名を派遣。「ジュニアリーダー育成グループ研修」が加わる。
 ●愛の輪地域実行委員会を全国11地域に編成。

- **第29期 2009年**
 ●研修派遣生16名を派遣。

- **第30期 2010年**
 ●研修派遣生27名を派遣。
 ●バンクーバー2010パラリンピック冬季競技大会のアイススレッジホッケーで、銀メダルを獲得した第21期研修派遣生 永瀬充さんに対し、「愛の輪賞」を贈呈。
 ●12月3日、広げよう愛の輪運動の30年間にわたる障がい者のための福祉事業が認められ、「第60回障害者自立更正等厚生労働大臣表彰」を授賞。



- **第31期 2011年**
 ●研修派遣生19名を派遣。
 ●2011年12月、公益法人の認定を受け、2012年2月、「公益財団法人ダスキン愛の輪基金」として名称も新たにスタート。

- **第32期 2012年**
 ●研修派遣生13名を派遣。

- **第33期 2013年**
 ●研修派遣生9名を派遣。
 ●ロンドン2012パラリンピック競技大会の水泳競技において、銀メダルと銅メダルを獲得した、第30期研修派遣生 木村敬一さんに対して「愛の輪賞」を贈呈。

- **第34期 2014年**
 ●研修派遣生14名を派遣。
 「スタディ・イン・アメリカ研修」が加わる。

- **第35期 2015年**
 ●研修派遣生5名を派遣。

- **第36期 2016年**
 ●財団設立35周年、秋篠宮妃殿下、眞子内親王殿下ご臨席のもと、海外研修派遣生の成果発表会を開催。
 ●研修派遣生7名を派遣。

- **第37期 2017年**
 ●研修派遣生8名を派遣。
 「ミドルグループ研修」が加わる。

- **第38期 2018年**
 ●研修派遣生8名を派遣。

- **第39期 2019年**
 ●研修派遣生9名を派遣。

- **第40期 2020年**
 ●研修派遣生7名を派遣(待機中)。

- **第41期 2021年**
 ●第41期生の募集はコロナウイルス感染拡大のため未実施。
 ●東京2020パラリンピック競技大会の水泳競技において、第30期研修派遣生 木村敬一さんが、金メダルと銀メダルを獲得。

役員・委員一覧

役員

(任期:2021年6月15日~2023年6月開催予定評議員会)

| | | | |
|----|--------|----------------|-------------------------------|
| 理事 | 理事長 | 山村 輝治 | (株)ダスキン 代表取締役会長 |
| | 専務理事 | 宮原 和之 | (株)ダスキン ミスタードーナツ事業本部東日本運営部 部長 |
| | 常務理事 | 室山 都子 | (公財)ダスキン愛の輪基金 事務局長 |
| | 理事 | 山脇 節子 | ダスキンフランチャイズチェーン全国加盟店会 理事長 |
| | 理事 | 松友 了 | 社会福祉士事務所・早稲田すばいく 社会福祉士 |
| | 理事 | 五十嵐 紀子 | (社福)光友会 理事長・総合施設長 |
| | 理事 | 松井 亮輔 | (公財)日本障害者リハビリテーション協会 副会長 |
| | 理事 | 關 宏之 | 元(社福)日本ライトハウス 常務理事 |
| | 理事 | 小川 美樹 | ミスタードーナツフランチャイズ共同体 理事長 |
| | 理事 | 崎野 圭子 | 元ダスキン生産協栄会 理事長 |
| 理事 | 大熊 由紀子 | 国際医療福祉大学大学院 教授 | |
| 理事 | 田門 浩 | 都民総合法律事務所 弁護士 | |

(任期:2019年6月19日~2023年6月開催予定評議員会)

| | | | |
|-----|-------|--------------------------------------|-----------------------------|
| 評議員 | 評議員 | 青柳 紀 | (株)ヨコハマフーズ 代表取締役社長 |
| | 評議員 | 東 正樹 | ダスキンユニフォームサービスFCチェーン会 理事長 |
| | 評議員 | 池口 誠 | ダスキン労働組合 委員長 |
| | 評議員 | 須田 隆 | 興隆産業(株) 代表取締役 |
| | 評議員 | 金井 栄 | ダスキン全国ケアサービス加盟店会 理事長 |
| | 評議員 | 山崎 正順 | ダスキンレントオール・ヘルスレントコミュニティ会 理事 |
| | 評議員 | 君島 淳二 | (公財)日本障害者リハビリテーション協会 常務理事 |
| 評議員 | 佐浦 隆一 | 大阪医科薬科大学 医学部 総合医学講座 リハビリテーション医学教室 教授 | |

(任期:2019年6月19日~2023年6月開催予定評議員会)

| | | | |
|----|----|-------|----------------|
| 監事 | 監事 | 宮田 直人 | (株)ダスキン 取締役CFO |
|----|----|-------|----------------|

(任期:2021年6月15日~2023年6月開催予定評議員会)

| | | | |
|----|----|-------|------------------|
| 顧問 | 顧問 | 伊東 英幸 | 元(株)ダスキン 代表取締役会長 |
|----|----|-------|------------------|

ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業実行委員会 委員

(任期:2021年4月1日~2023年3月31日)

| | | | |
|--------|------------------------|-------|-------------------------------------|
| 青松 利明 | 筑波大学付属視覚特別支援学校 教諭 | 小林 洋子 | 筑波技術大学 講師 |
| 青柳 まゆみ | 愛知教育大学 准教授 | 長瀬 修 | 立命館大学 教授 インクルーシブインターナショナル 事務総長 |
| 金塚 たかし | 大阪精神障害者就労支援ネットワーク 統括所長 | 福田 暁子 | 全国盲ろう者協会 評議員・国際協力推進委員 世界盲ろう者連盟 事務局長 |
| 尾上 浩二 | DPI日本会議 副議長 | 小林 昌之 | 日本貿易振興機構 アジア経済研究所 主任調査研究員 |

ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業実行委員会 委員

(任期:2021年4月1日~2023年3月31日)

| | | | |
|-------|---------------------------|--------|-------------------------|
| 寺島 彰 | (公財)日本障害者リハビリテーション協会 参与 | 野村 美佐子 | 特定非営利活動法人 支援技術開発機構 事務局長 |
| 山口 和彦 | NPO法人 居宅移動支援事務所 TOMO 事務局長 | 茨木 尚子 | 明治学院大学 教授 |
| 河村 宏 | NPO法人 支援技術機構 副理事長 | 廉田 俊二 | NPO法人 メインストリーム協会 理事長 |
| 嶋本 恭規 | (一財)全日本ろうあ連盟 理事 | 川口 聖 | 国立民族学博物館 外来研究員 |

愛の輪運動地域実行委員会 委員長

(任期:2022年4月1日~2024年3月31日)

| | | |
|-------|--------|----------------------|
| 北海道地域 | 吉川 哲也 | (株)ダスキンプロンティア 代表取締役 |
| 東北地域 | 稲葉 廣直 | (株)アイウェイ イナバ 代表取締役社長 |
| 東京地域 | 川島 商彦 | (株)ダスキン三吉屋 代表取締役 |
| 北関東地域 | 鷹 義久 | (株)ダスキン土浦 代表取締役 |
| 南関東地域 | 渡辺 信義 | クリーンスペース(株) 代表取締役会長 |
| 北陸地域 | 重松 哲也 | (株)和倉ダスキン 代表取締役 |
| 東海地域 | 浅倉 伸治 | (株)経真 代表取締役 |
| 近畿地域 | 山形 淳一郎 | (有)シーズ 代表取締役 |
| 中国地域 | 橋詰 正紀 | ダスキン愛の店廿日市(株) 代表取締役 |
| 四国地域 | 西岡 正人 | (有)ダスキン高知 代表取締役 |
| 九州地域 | 小西 徹 | (有)コニシ 代表取締役 |

めい あい へるぶ ゆうーダスキン愛の輪基金

1980年8月22日、ダスキンを創業して17年目、創業者 鈴木清一が永眠されました。終生願い続けてきた「祈りの経営」という独自の経営理念と、その思想「人を育てる」「惜しみない愛を捧げる」という愛の精神を受け継ぎ、前進できる目標が必要でした。

翌年の1981年、国連が提唱した国際障害者年のテーマ、障がい者の社会への「完全参加と平等」の趣旨に沿って、創業10周年を迎えたミスタードーナツが、お世話になった地域の皆さまへのお礼返しとして、「ミスタードーナツ障害者リーダー米国留学派遣」を提唱し、日本全国に大きな影響をもたらし、その事業継承のため、ダスキンの社会貢献活動のひとつとして、「財団法人 広げよう愛の輪運動基金」が発足し、2012年2月、内閣府の公益認定を受け「公益財団法人 ダスキン愛の輪基金」として生まれ変わりました。

「めい あい へるぶ ゆう？（何かお手伝いすることはありますか？）」、私たちにできることはほんの小さいことかもしれませんが、誰かのために、何か少しでもお役に立たせていただきたい。街角で困った人を見かけたら、お手伝いしたい。

一人ひとりの真心や優しさを行動に表し、「障がい者の自立と社会との共生」の実現を願い、小さなボランティアの輪が広がって、障がいのあるなしにかかわらず、全ての人々が心豊かな社会になりますように願っています。

あいのわ宣言

私たちは、この運動を通じて障害者の方々が社会への完全参加を果たせるよう
平等の立場から、心身障害児・者福祉の発展に努めることを誓います。

「広げよう愛の輪運動」会員憲章

私たちは、人間の尊厳と社会正義の信念に基づき、
心身に障害を有する人びとと、すべてを連帯する。

私たちは、「広げよう愛の輪運動」のシンボル・バッジを掲げ、
広く多くの人びとに運動の理念を啓発し、併せて参加を呼びかける。

私たちは、障害者における安全な社会環境の整備を求め、
障害者のニーズを理解し、
ボランティア活動等の遂行のために、知識と能力の研鑽に努力する。

すべての人間は生まれながらにして自由であり、尊ばれ、諸権利を有し、そして平等である。

私たちは、すべての人間が深い絆で結ばれ、
社会への完全参加を指針とし、援助と協力を積極的に行う決意をここに宣言する。



公益財団法人 ダスキン愛の輪基金

〒564-0063 大阪府吹田市江坂町3-26-13 ダスキン江坂町ビル
TEL.06-6821-5270 FAX.06-6821-5271 <https://www.ainowa.jp>

